

科目	会計学総論	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

企業の業績や財政状態は、会計情報に集約され、財務諸表を通じて表示される。財務諸表を理解するためには、会計のルールや勘定科目の意味など専門用語の体系を学ぶ必要がある。この授業では、実際の公表財務諸表を用いて分析を行うなど実践的な学習スタイルをこころがける。

【履修注意】

受講生に会計知識がないという前提で、スタートするが、しだいにレベルアップする。毎回復習を心がけてほしい。

【評価方法】

定期試験、ミニテスト、レポートおよび受講態度による。6回以上の欠席で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱い。

【試験について】

期末試験は、欠席5回を超えると受けられない。

再試験対象者の条件： 疾病、怪我、家庭の事情など特別な事情のある場合に限る(要証明書)

【予習・復習】

予習は必要ないが、復習を心がけるように、随時レポートを課す。

【教科書】

購入教科書の指定はなし。

【参考書】

指定はなし。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	貸借対照表と損益計算書(1)	オリエンテーション、会計の意義、機能、目的
2	貸借対照表と損益計算書(2)	流動資産、固定資産、投資その他
3	貸借対照表と損益計算書(3)	減価償却費、貸倒損失、貸倒引当金
4	貸借対照表と損益計算書(4)	社債、資本金、新株予約権
5	貸借対照表と損益計算書(5)	資本剰余金、利益剰余金、資本準備金、利益準備金
6	貸借対照表と損益計算書(6)	仕訳、仕訳帳、転記、総勘定元帳
7	貸借対照表と損益計算書(7)	合計残高試算表、決算棚卸表、清算表
8	中間まとめ	1-7回の復習
9	財務諸表分析(1)	収益性分析、総資本利益率、自己資本利益率
10	財務諸表分析(2)	総資産回転率、棚卸資産回転率、在庫管理
11	財務諸表分析(3)	安全性分析、流動比率、固定長期適合率
12	ROA(1)	デュポン分析、ROE、ROA
13	ROA(2)	デュポン分析、SBU、日米比較
14	ROA(3)	デュポン分析、ケース分析、製造業
15	ROA(4)	デュポン分析、ケース分析、小売業
16	期末試験	全回分の復習・総まとめ、到達度確認、客観テスト